

平成24年度 事業計画

(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

事業計画の概要

1. 政府経済見通し（3月閣議）は「各種の政策効果などを背景に、景気の持ち直し傾向が確かなものになることが期待される。」と現状を認識し、「海外景気が下振れし、我が国の景気が下押しされるリスクが存在する」としており、景気の回復の兆しは不透明と言わざるを得ない状況である。
2. 日本配線システム工業会を取り巻く環境においては、新設住宅着工件数が昨年度も、対前年実績を上回り、持ち直しの動きがみられるが、依然として低い状況が継続し、2012年においても住宅・非住宅共に楽観を許さない状況となっている。
当工業会の出荷金額は住宅着工動向に影響される部分が大きく、平成24年度は上記の状況から対前年比で、点滅器100.8%、接続器101.0%、住宅盤103.0%、その他含む合計101.3%と推定される。

平成24年度（平成24年4月～平成25年3月）予測（%）

（予測は各会員会社からの予測数字を調査・統計委員会にて集計した金額ベースの伸長）

	上期	下期	年度（%）
点滅器	99.5	101.9	100.8
接続器	99.2	102.7	101.0
開閉器	64.5	92.1	77.0
住宅用分電盤	101.7	104.2	103.0
信号・情報機器	100.2	102.5	101.4
総額	99.7	102.8	101.3

3. 本年度より、一般社団法人移行に併せ、工業会名称を「日本配線システム工業会」へ変更する。企画委員会で第2次中期計画の反省、総括を行い、各本部、専門委員会に計画案を策定して頂き、「配線システム」の名にふさわしい第3次中期計画を策定した。今年度は、第3次中期計画に従い、新たな事業分野の拡大を指向する。太陽光発電、電気自動車充電関連、蓄電池、燃料電池など、急速に普及する分散型の各種電源に対し、安全なシステムを構築できる配線器具、住宅盤などの検討を開始する。特に、今後の発展が期待されるスマートハウス関連テーマに関し、専門委員会を横断し、スマートハウスWGを発足し、傘下に作業会を設け、推進していく。

1. 最重点課題

1. 第3次中期計画4大活動テーマの推進
 - 1) 配線システムからの火災事故を撲滅する「安全品質の追及活動」
 - 2) 交換リニューアル市場を構築する「安全・点検リニューアル活動」
 - 3) 低炭素社会を配線システムで実現する「環境対応推進活動」
 - 4) 新しい配線システムの標準で安心を造り出す「標準化推進活動」

2. 重点項目 (定款順)

1. 配線システム及び配線器具に関する生産、流通等の調査及び研究
 - ・出荷統計調査(接地極付きコンセント含む)、需要動向・流通動向の早期集計
2. 配線システム及び配線器具に関する技術の調査及び研究
 - ・技術動向、技術課題等に関する情報収集及び提供
3. 配線システム及び配線器具に関する情報の収集及び提供
 - ・市場動向、環境問題等に関する情報収集及び提供
4. 配線システム及び配線器具に関する普及及び啓発
 - ・日配工の提案する製品の普及と安全点検など使用者への啓発
5. 配線システム及び配線器具に関する規格の立案及び推進
 - ・各種規格作成委員会活動の推進と取り纏め
6. 配線システム及び配線器具に関する内外関係機関等との交流及び協力
 - ・国内関係機関及び海外関係機関との協調体制構築
7. 前各号に掲げるもののほか、本会の目的を達成するために必要な事業

3. 具体策

一般社団法人日本配線システム工業会に移行した事に伴い実施する公益目的支出計画における実施事業は次で表示する。

【実施事業 継1】 継続事業1 配線システム及び配線器具に関する規格等の立案と啓蒙

【実施事業 継2】 継続事業2 配線システム及び配線器具に関する普及と啓発

1. 第3次中期計画4大テーマの具体的実施

1) 「安全品質の追及活動」の推進

- ①配線システムの事故撲滅のため、安全ガイドラインの見直し
- ②ユーザへの誤使用防止啓発活動の推進
- ③新しい負荷(LED)に関するスイッチ(調光器)との課題解決(チラツキ、雑音)

2) 「安全・点検リニューアル活動」の推進

- ①取替え需要の基礎となる“寿命特定”を検討
- ②安全点検PR活動の推進・・・【実施事業 継2】
 - ・「配線器具の日」行事(2012年11月9日)
 - ・JECA FAIR 2012 電設工業展(2012年5月30日~6月1日 大阪)
 - ・東京都職業訓練センター技能祭
 - ・ホームページの有効活用

3) 「環境対応推進活動」の推進

- ①スマートハウスWGにて、分散電源の安全性なシステムを検討する
- ②日配工の活動から以下の標準化を実施する
 - ・日配工規格「太陽光発電用住宅盤」の制定
 - ・日配工規格「コードセット」へのポリオレフィンコードの追加

- ・日配工規格「点滅器・接続器の安全ガイドライン」の改正
 - ・日配工技術資料「EV 普通充電用電気設備の施工ガイドライン」へ 100V 系の追加改正
 - ・日配工技術資料「スマートハウス」の制定検討
 - ③電気自動車充電インフラに関し、電動 2 輪車への対応
 - ④Net-EMS での ISO14001 活動紹介
 - ⑤環境優良施設見学会・環境講習会の開催
- 4) 「標準化推進活動」の推進・・・【実施事業 継 1】
- ①IEC 国際会議開催
 - ・ IEC SC23B の作業会 (MT4, 5) を東京にて開催
MT4 : 2012 年 9 月 17 日～19 日、MT5 : 9 月 20 日～21 日
 - ②IEC 国際規格対応
 - ・ IEC60669S「固定電気設備用スイッチ」、IEC60884S「家庭用プラグ・コンセント」等
日配工が担当する I E C 規格の改正に対する意見集約と提起
2. 需要拡大の検討
- 1) 企画委員会にて、日配工の需要拡大につながる事業検討
 - ①商品寿命を明確にし、取替え需要を掘り起こす
 - ②安全な製品への日配工ラベル表示制度 (日配工規格遵守の明示) による、シェア拡大
(EV 充電コンセント盤、スタンドで検討開始)
3. 電気用品安全法省令の見直し・・・【実施事業 継 1】
- 1) 「電気用品の安全に関する技術基準等に係る調査検討会」等関連委員会に参画
 - ・ 検討会、幹事会、分科会、作業WG
 - 2) 性能規定化WG 4 を日配工が担当し、別表第四 配線器具の当面の性能規定化を推進
 - 3) 理想的性能規定化 (H28 年以降) に備え、現行の配線器具が製造・販売できるよう、別表第四 配線器具の技術基準の内容で、新 JIS 作成
(平成 24 年度 工業標準化法 第 12 条の公募による作成)
 - 4) 電気用品技術基準に電源プラグの耐トラッキング性を追加し、事故を削減
(電気用品調査委員会 省令 1 項改正検討会)
4. その他
- ・ 60 周年事業 (平成 26 年) の検討開始

以上